

## なりたい自分を持つ大切さについて

(社)日本 ITF テコンドー協会 理事長 岸玄二

皆さん、おはようございます。

コロナ禍の中で大会を開催できることは大変ありがたいことだと思います。

また、このような状況において大会運営にご協力いただけるスタッフたちには感謝と敬意を表させていただきます。本当にありがとうございます。

現在中部テコンドー連盟では大会の運営指針というものに則って運営させていただいています。これは第一の目的として大会スタッフの安全の確保、安心して大会の運営に参画していただけるようにするためのものです。

大会と言うものは選手もちろん大事です。しかしながら運営するスタッフが集まらなければ大会そのものが開催できません。まず順序としてスタッフの安全確保であるという事をご理解いただきたいと思います。その上で、大会スタッフにある程度の同意を得た上で今回多少の緩和をした状態で運営をしていきます。具体的には前回は子供に同伴できるご家族様は1名でしたが、今回はご家族であれば何名でも可となっています。

今日はその指針を切り口に、心の在り方についてのお話をさせていただきます。

前回指針と言うものを公開して、様々な人間模様が私には見えました。厳しいくらいの指針、それを厳しく運営されているスタッフたちを見て、安心して試合に参加することが出来た、という嬉しいご意見もあり、また逆にスタッフたちの目をすり抜けて指針を守らずに大会に参会してる者もいました。そういった方たちを見て、また話が回りまわって指針を守っている方の耳に入り、これが苦情という形で私の所に届いたものもあります。

苦情の内容と言うのはごもっともなご意見です。特に小さいお子様がいらっしゃるご家庭においては、小さい子を家で一人にするわけにはいかないのです、大会の参加を断念された方もみえます。そういった方にとって、知っていたかどうかはさておき、指針を守らずに小さい子を連れてきていたと聞けば、腹を立てるのも当然です。

この例に留まらず、指針を守っている方にとって、守っていない様は腹を立てて当然の事だと思います。

私の耳に届いた以上は、その感情を尊重して何らかの対応は必要です。

指針を守らない方には大会に参加する資格は無いと、今後の大会への参加をお断りするのが妥当かも知れません。

しかしながら私が長である限り、罰則は与えません。

理由は人間というものは関わり合って生きています。その人がその行動を起こすまでに様々な方が関わり、色々はものから影響を受けてその行動を選択します。

よってその人ひとりの問題ではないという考え方を私は持っています。

前置きはここまでにして、本題に入ります。

『強い』とはどういうことでしょうか？

毎回お伝えしていますが、答えは『あるべき姿でいる』ということです。

ご質問させていただきます。指針を守った方は強いですか？弱いですか？

正解は強いだと思います。指針を守ることがあるべき姿だと思います。

では守らなかった人は？これは弱い人だと思います。

ここからが重要なのですが、では指針を守らなかった人を見て腹を立てた方は強いでしょうか？正解は弱い人です。

その人の感情を否定するわけではありません。ただ今お話をさせていただいている話は『強い』ということを中心に話をさせていただいています。何が言いたいかと言いますと、強かった人が弱くなってしまうのは損だと思いませんか？という話です。どうしたら強くいられるかという話を今からさせていただきます。

皆さんは人の有り様を見て腹を立てる人間になりたいですか？

答えはそうではないと思います。しかし人間はそういった部分も誰もが持っています。

ではそうならないために何が必要かという『なりたい自分』です。自分が人間としてどうなりたいのか。それを持っているかということです。

これは多くの方は明確には持っていないと思います。だからこそ今に囚われてずっと腹を立ててしまう。未来になりたい自分がある人にとって、現在とはただの現状で、ではそれと未来の自分との違いをどう変えていこうかという思考が働きます。

しかしなりたい自分が無いと、自分の過去に重きをおいて、現在との違いに腹を立てることになりやすいです。

自分は指針を守ったという思いが強い人ほど、現在守っていない方に対して腹を立てるのは仕方のないことです。しかし最も重きを置く部分は未来の自分であって、そうあってこそ現在を前向きに捉えることが出来ます。

今回の私であれば、指針を守っていない方がいる光景は、私とその人たちにとって信頼に足る人間ではなかったという、ただの結果です。岸の出している指針など守らなくてもいいだろうという結果だったというだけです。現状を受けとめて皆さんにとって信頼に足

る人間になれるように努力しようと思います。信頼に足る人間になることは、私のなりたい自分の像に重なる部分がありますので。

生きていれば腹が立つこともあったり納得いかないこともあったりします。しかしそのたびに相手を変えようとしても変わりません。相手には相手に見える景色があり、それは自分とは違う景色で、その人にはその人でやりたいことがあります。なので相手に働きかけて変えれたとしてもそれは一時の事です。本当に変えられるのは自分だけです。

始めに述べさせていただいた通り、人間というものは関わり合っていますので、あなたが良い方向に変わることが、相手を良い方向へと変えることができる唯一の手段です。

あなたが何かしら問題に直面した時に、自分を変えることで解決していく。この組織はそういった人の集まりであって欲しいと願っています。

2021年7月24日

第25回東海テコンドー選手権大会にて